

淀川水系 川上ダム

地域を守り、川を潤し、水を届ける



4月から
管理開始

川上ダム建設事業完了式

3月26日に川上ダム(三重県伊賀市)において「川上ダム建設事業完了式」を行いました。当日はあいにくの雨でしたが、関係者を含め約200名に参列いただきました。

主催者挨拶として金尾理事長より、事業に協力をいただいた皆様、とりわけ移転者の皆様へ感謝の意を示し、川上ダム本来の目的を達成するべく、また、地域の方々に愛される観光資源として地域振興・活性化に寄与するために取り組んでいくことを述べました。

式典の最後に、伊賀市長を始め地域の代表の方々により川上ダム湖名碑の除幕を行いました。ダム湖名は625件の応募をいただいた中から川上ダム水源地域ビジョン策定委員会により「あおやま川上湖」に決定されたもので、岡本伊賀市長に揮毫いただきました。

令和5年4月からは管理を開始し、ダムの目的を發揮させることとはもとより、地域の皆様にも親しんでいただけるようにダムを管理していきたいと思っております。今後、水源地域ビジョンを通じてダムを活かした地域活性化にも力を注ぎ、関係自治体や地域の皆様と協働していききたいと思っております。



金尾理事長による主催者挨拶



「あおやま川上湖」名碑除幕式

置しました。河川及び貯水池水質について調査・把握し、水質保全設備を適切に操作・運用します。

川上ダムの概要

川上ダムは、淀川の支川である木津川の上流部、三重県北西部に位置する伊賀市を流れる前深瀬川に建設された多目的ダムです。淀川本川及び木津川の洪水被害を軽減するなど、大阪府、京都府、三重県にまたがる淀川流域全域の治水安全度の向上に寄与し、上野遊水地や河川改修と相まって、伊賀市上野地区等の浸水被害の解消、前深瀬川及び木津川の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図ります。また、既設ダム(高山ダム、青蓮寺ダム、布目ダム及び比奈知ダム)が堆砂除去する際の代替補給や伊賀市の安定した水道水源として、最大毎秒0・358m³の水を供給します。



現在の取組内容

- 試験湛水**
試験湛水とは、水を貯められる最高水位まで貯水位を上昇させ、その後確認が必要な貯水位まで降下させることにより、ダム堤体や貯水池周辺地帯等の安全性を確認するもので、10月16日以降の非洪水期には、水を貯めることができる最高水位に向けて再び貯水位を上昇させます。また、初めて貯水による水圧を受けることから、安全管理のため「ダム堤体観測・巡視」「貯水池斜面観測・巡視」「ダム堤体及びダム右岸鞍部の地下水位等観測・巡視」を行っています。
- 水道用水の供給**
木津川の河川流量が減少した際は、伊賀市からの要請に基づき、ダム貯留水を木津川に供給し、水道用水として取水できるようにします。
- ダム防災操作**
洪水期(6月16日～10月15日)は大きな洪水が想定されることから、ダム下流の浸水被害軽減を目的とするダム防災操作のため、常時は洪水貯留準備水位で貯水位を維持し、洪水を一時貯留できるように備えます。洪水時には、この容量に洪水量(70m³/s)以上の流入水を貯留することにより、洪水調節を行います。
- ダム貯水池水質の保全**
安全で良質な水の提供を行うために、川上ダムでは貯水池水質の保全、下流河川への影響低減を目的として、選択取水設備、曝気設備、流入水バイパス設備などの水質保全設備を設



流入水バイパス設備

- モニタリング調査**
「ダム等の管理に係るフォローアップ制度」に基づき、ダムによる環境影響などの変化を分析・評価するため、試験湛水開始前の令和2年度からモニタリング調査を実施しています。調査結果については有識者委員による川上ダムモニタリング部会において分析・評価を行い、川上ダムの適切な管理に資することとしています。モニタリング調査は令和6年度まで実施する予定です。
- 水源地域ビジョン**
水源地域活性化の行動計画として「川上ダム水源地域ビジョン」を策定しています。具体的には「木津川源流体験」「地域の観光交流イベント」「水源地域散策会」など26項目の具体的取組が策定されています。関係機関と連携してこれらの取組を推進していくとともに、地元住民やNPO、関係機関が行う水源地域の活性化に関わる活動に対して、活動の継続や拡大のための支援や協力を行っていきます。
- 湖面利用**
ダム湖は誰もが利用できる公共の空間であり自由利用が原則で、全ての人が公平で安全に利用できる必要があります。また、貯水池は重要な水源であるため利用においては水質保全を遵守する必要があります。このため、水質保全及び安全面を考慮し、エンジンなどによる動力船の利用制限、外来魚の放流禁止、「ゴミの持ち帰り」に努める、「他の利用者の迷惑になる行為」の禁止など、関係機関と協議して定めた湖面の適正な利用のためのルールを守りながら、湖面を活用していきます。

※2: 伊賀市にある木津川の遊水地

※1: 洪水に対する川の安全の度合いを確率で表現したもの